

緑地管理場面での使用

効果試験

ラウンドアップマックスロードの混用で発生時の雑草を枯殺し
処理後約4カ月でも雑草の発生を抑えた。



処理日 4月21日

調査日 6月19日

調査日 8月20日

【処理日】2020年4月21日 【調査日】① 2020年6月19日 ② 2020年8月20日

【薬 量】セットアップDF：0.2g/m²（水量100ml/m²）

ラウンドアップマックスロード：1.5ml/m²

試験場所：山口県

【効果・被害等の注意】

- 本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布して下さい。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布して下さい。
- 雑草発生前に散布しないと効果が劣るので、散布時期を失しないように散布して下さい。
- 乾燥時の散布では散布水量を多めにして下さい。
- 洋芝への使用は芝の生育を抑制するので洋芝には使用しないで下さい。グリーン周囲に散布するときは、除草剤専用ノズルを使用し、規定の薬量を越えないよう均一に散布して下さい。
- 虫害、病害で弱っている芝や、踏圧・擦り切れなどで弱っている芝に使用すると芝の生育を抑制することがあるので注意して下さい。
- 張り芝に使用する場合、張り芝直後に使用すると活着が遅くなるので活着を確認してから使用して下さい。また、目地張りの場合は、目地が詰まった後に散布して下さい。
- 夏期の高温・乾燥時の使用は、芝が葉焼けや黄化する恐れがあるので避けて下さい。
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花や花木、畑作物に薬液がかからないようその付近での散布は避けて下さい。
- 本剤の散布に用いた器具類は、使用后直ちに洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意して下さい。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器等は、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

【安全使用上の注意】

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

【魚毒性等】

水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

【保管上の注意】

高温あるいは吸湿しやすい条件では、物理的性状が劣化するおそれがあるので、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

取り扱い店



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号

ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>

お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

広範囲の一年生イネ科雑草・広葉雑草に有効

土壌処理型除草剤

セットアップ® DF

土壌処理効果で一定期間 雑草の発生を抑制



●適用作物と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量			本剤の使用回数	トリアジフルラムを含む農薬の総使用回数	ハロスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量	使用方法			
日本芝	—	一年生雑草	芝生育期 (雑草発生前)	75~150g /10a	200 ~ 300L /10a	散 布	2回以内	2回以内	3回以内
樹木等	公園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地の り面 鉄道等		雑草発生前	100~200g /10a	100L/10a	植栽地を除く 樹木等の 周辺地に 全面土壌散布			

概要

- 【一般名】トリアジフラム・ハロスルフロンメチル水和剤
【有効成分】トリアジフラム…… 30% ハロスルフロンメチル…… 30%
【性状】淡褐色水和性細粒
【容量】200g×5
【人畜毒性】経口 ラット・LD50 雄 4775.5 mg/kg 雌 4776.2 mg/kg
【魚毒性】コイ LC50 8.8 mg/L (96hr)
ミジンコ EC50 290mg/L (48hr) 藻類 EC50 0.0029mg/L (72hr)

特長

- 一年生のイネ科雑草（スズメノカタビラ、アキメヒシバ、メヒシバ等）から広葉雑草（キク科、ヤハズソウ、コニシキソウ、タチイヌノフグリ、カラスノエンドウ等）まで有効な土壌処理型除草剤です。
- 安定した処理層を形成し、春処理で90日～120日、秋処理で150日～180日程度の効果が持続します。
- 顆粒水和剤ですので、散布の際、粉立ちが少なく、水に溶けやすい製剤になっています。
- ターフを形成した日本芝に対して選択性の高い除草剤です。

殺草スペクトラム

(0.1g/m²処理)

雑草名		発生前処理効果	発生初期処理効果
イネ科	メヒシバ	●	●
	アキメヒシバ	●	●
	エノコログサ	●	●
	スズメノカタビラ	●	●
トウダイグサ科	コニシキソウ	●	●
マメ科	ヤハズソウ	●	●
	カラスノエンドウ	●	●
	クローバー	◎	○
ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ オオイヌノフグリ	●	●
ナデシコ科	オランダミミナグサ	●	●
	ツメクサ	●	◎
	ハコベ	●	●
スベリヒユ科	スベリヒユ	●	◎
アブラナ科	ナズナ	●	●
キク科	オオアレチノギク	●	●
	ハルジオン	●	●
	ノボロギク	●	●
カヤツリグサ科	ハマスゲ ヒメクダ	●	●

(日植調委託試験、社内試験より作表)

●:極大 ◎:大 ○:中 △:小 ×:無

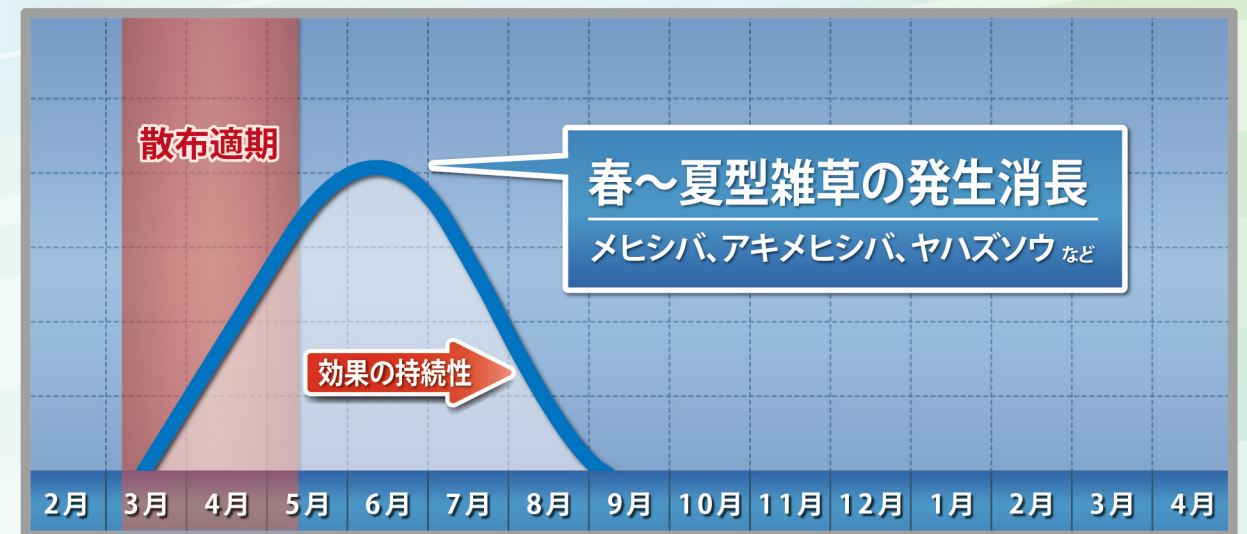
日本芝での上手な使い方

- 適期（雑草発生前）に散布して下さい。
- 使用薬量は春処理で0.075g/m²秋処理で0.1g/m²が標準です。
- 張り芝直後の芝生には散布しないで下さい。
- 寒地型洋芝には散布しないで下さい。

効果的な使用時期

春処理

春処理においては、アキメヒシバの発生まで抑えることができます。



秋処理

秋処理においては、翌春の雑草の発生まで抑えることができます。また、発生が長期間にわたるスズメノカタビラに対しても安定した除草効果を発揮します。

